

学校だより

宝達志水町立相見小学校

令和3年5月20日(木)

No. 4

文責 清水ひとみ



相見小学校だより

めざす児童像 : 自ら学びとる子 思いやりのある子 自ら鍛える元気な子

6年科学教室 5月10日(月)

～ 「おどろき・ふしぎ・なるほど」が いっぱい! ～

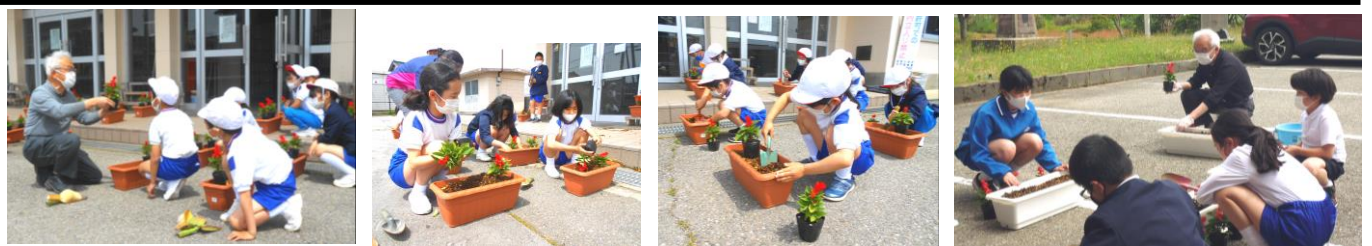
5月10日(月)の3・4限に6年科学教室を行いました。講師として、木谷先生(金沢子ども財団元職員・元金沢市立泉野小学校長)が来てくださいました。

普通の紙飛行機から始まり、「イヌワシ型の紙飛行機」「羽が輪の飛行機」「筒形の飛行機」等、見たこともないような飛行機を、木谷先生に教えていただきながら、いくつも作っていきました。「おー」「えーっ」「わー」など大きな歓声が、あちこちで思わず湧きました。

よく飛ぶためには、「揚力(ようりょく)」について理解することが大切だということを教えていただきました。子供達は、飛行機の先端に重りをつけたり、羽の形を変えたりと、試行錯誤をしながら何回も飛ばしていました。楽しく活動する姿が広がっていきました。



サルビアの苗を植えました ～毎朝、玄関前で私達を迎えてくれています～



12日(水)には3・4年生が、13日(木)には園芸委員が、用務員の元女さんに教えていただきながら、サルビアの苗を植えました。そして、児童玄関前と職員玄関前にそれぞれ並べ、水やりなどの世話も、当番を決め、毎朝続けてしてくれています。人と関わりながら本物に触れる体験活動を通して、心を豊かにできると思います。また、自然や環境にも目を向けることにもつながっていきます。今後も全学年において、積極的に体験活動を取り入れていきたいと思っています。

外国語（5・6年）・外国語活動（3・4年）

～ まずは「英語に慣れ親しむ」ことから ～

5・6年では、週に2時間の外国語、そして、3・4年生では、週に1時間の外国語活動を行っています。英語担当の亀井順平先生とALTのアモイ・メイヤー先生（ジャマイカ出身）の二人で授業をしています。亀井先生は樋川小学校に勤務されていますが、月曜日の午後と火曜日の午前には、本校に来てくださいます。

3・4年生の外国語活動では、「聞くこと」「話すこと[やり取り・発表]」を中心とした活動を通じて、英語に慣れ親しみ、学習への意欲を引き出すことを大切にしています。

5・6年生の外国語では、「読むこと」「書くこと」を段階的に加えていきます。そして、コミュニケーションを図る基礎を育てることを目指しています。

5月18日（火）の授業の様子について、紹介します。



3年外国語活動では、「1～20の数字の言い方を知ろう」をめあてとし、アモイ先生の発音を聞きながら何回も声に出して言ったり、手拍子を入れながら数の歌を歌ったりしました。また、ゲームを通して、楽しみながら何回も聞きました。そして、発音に気を付けながら、1～20の数字がだんだん言えるようになり、子供達の笑顔が広がっていききました。



4年外国語活動では、「遊びにさそう言い方になれよう」をめあてとし、アモイ先生の発音を聞きながら何回も声に出して言ったり、大型テレビでクイズ形式の動画を見ながら何回も聞いたりしました。また、ゲームをしながら繰り返し聞いたり話したりしました。「えーっ」「おー」などの楽しいつぶやきの声が、自然と広がっていききました。楽しく英語に触れ、学ぶ時間となりました。



5年外国語では、「月の言い方になれよう」がめあてでした。クイズを通して、ハラハラドキドキしながら、カードに書いてある単語（1月～12月）を何回も読んだり話したりしました。

6年外国語では、「スリーヒントクイズをして、いろいろな国のことを知ろう」がめあてでした。一人一人がネットを使って外国のことを調べ、分かったことをもとにクイズを作り、プレゼンにまとめました。そして、お互いに英語で紹介し合いながら、色々な国の名前やその国の盛んなスポーツ・伝統ある建物などについて知るとともに、話したり読んだりできるようになっていきました。